

吉田寮の建物について

発行:吉田寮補修特別委員会

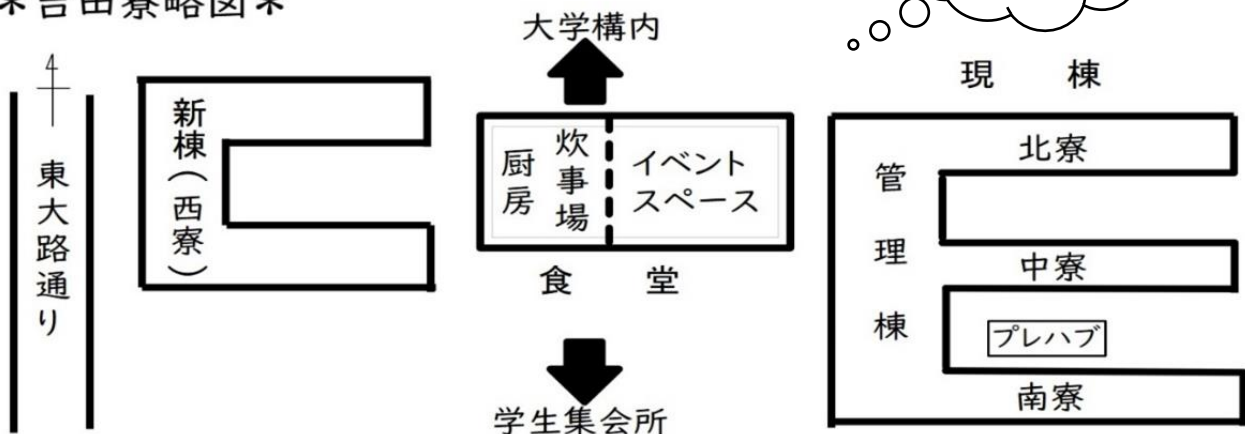
【吉田寮の構成】



- ・現棟(管理棟+北寮+中寮+南寮+プレハブ)
…居住スペース。1913年築。プレハブは1989年築。
- ・食堂…イベントスペース兼炊事場。食堂のうち「厨房」と呼ばれる部分は、楽器演奏スペースとして使われている。
1889年築、1913年に現在の場所に移転。
2015年に大規模補修完了
- ・新棟(西寮)…居住スペース。2015年完成。
2019年春以降、入寮募集は新棟のみ行っている。

↑詳しくはこちら
(『吉田寮・現棟の自力補修について』、補修特別委員会、2022年10月18日発行)
https://drive.google.com/file/d/1HiZ9nWfyh_bQRQN2BASclKaP_rSr1C41/view?usp=sharing

吉田寮略図



～カンパのお願い～

吉田寮の存続のため、カンパを集めています。
いただいたカンパは吉田寮自治会が責任を持って管理し、
・広報費用・インフラに関する費用（大学当局が電気、ガスなどを止めた場合）・訴訟費用などに使わせていただきます。
ご協力、ご支援賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

振込口座：ゆうちょ銀行／吉田寮在寮期限対策局／

店名:四四八／店番:448／種目:普通預金／

口座番号:4373830

【吉田寮の歴史(主に建物について)】

年	できごと
1889	第三高等中学校(94年に旧制第三高等学校へ改組)の寄宿舍の一部として食堂が竣工
1897	京都帝国大学創立
1913	吉田寮(現棟)竣工。食堂、現在の場所に移転
1941	火災で中寮全焼(その後再建)
1959～60	民間の労働者用寄宿舍を学生寮に転用、吉田寮の一部となる(旧吉田西寮、現薬学部構内)
1986～	第一次在寮期限闘争(～89)
1989	旧吉田西寮、完全撤去。プレハブ建築
1996	食堂横にあった旧サークルボックスで出火、食堂の防火壁から西側が焼ける
2012	①現棟補修計画の継続協議 ②新棟建設 ③食堂大規模補修の方針で大学当局と寮自治会が合意
2015	3月、食堂大規模補修完了、新棟竣工 杉万学生担当副学長(当時)、寮自治会が提示した現棟補修案に賛同 11月、新任の川添副学長(当時)、寮自治会との話し合いを拒否。以降大学当局は、寮自治会の現棟補修案に「検討中」としか回答しなくなる
2017	12月、当局が突如として新規入寮募集停止方針を決定 18年9月末を寮生の退去期限として一方的に通告する
2018	7月、川添副学長(当時)と交渉がもたれるも、当局側に寮側との合意形成の意思は一切ないということを川添氏が主張。川添氏による寮生への恫喝発言もあった。 2度の交渉をもって、当局側が一方的に交渉を打ち切る 9月、台風21号により北寮屋根が甚大な被害を受ける(22年に自力補修を行う) 9月30日、退去期限の到来
2019	1月、京都地裁により「占有移転禁止の仮処分」がなされる 4月、大学当局が寮生20人に対し現棟・食堂の明渡を請求する民事訴訟を提起
2020	3月、寮生・元寮生25人が追加で提訴される。被告は計45人となる
2022	11月2日、第15回口頭弁論
2023	2月27日、第1回証人尋問 3月27日、第2回証人尋問



吉田寮小史ウェブサイト

[https://www.yoshidaryo](https://www.yoshidaryo.org/brief-history/)

[org/brief-history/](https://www.yoshidaryo.org/brief-history/)